

ひまわり



茨城県立医療大学付属病院のご紹介

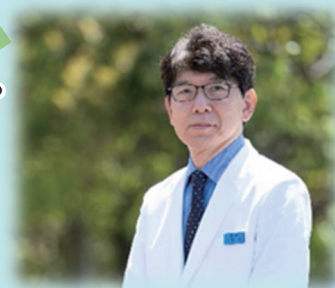
～開院30周年を迎えて～

開院30周年を迎えて

病院長 河野 了

令和8年12月、茨城県立医療大学付属病院は開院30周年という節目を迎えます。

病院とは、人の人生が少しだけ交わる場所です。病気やけがによって立ち止まったとき、不安を抱えながら病院を訪れる患者さんやご家族。そして、その方々を支える医療者。それぞれの人生が交わる時間は決して長くはありません。しかし、そのひとときが、その後の人生を支える力になることがあります。私たちは、その時間を大切にしながら、一人ひとりに寄り添う医療を続けてきました。



平成8年の開院以来、本院は茨城県立医療大学の付属病院として、リハビリテーション医療を中心に、教育・研究・診療を一体として推進してきました。医師、看護師、療法士、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、多様な専門職が連携するチーム医療が本院の特色です。一人の患者さんを中心に、それぞれの専門性を生かして「その人らしく生きる」を支える医療を実践しています。また、未来の医療を担う人材を育成し、新たな知見を地域へ還元することも、大学付属病院として担ってまいりました。

開院以来、医療を取り巻く環境は大きく変化しました。少子高齢化の進展や医療技術の発展、新型コロナウイルス感染症への対応など、幾度となく課題に直面しました。そのたびに実感したのは、病院は決してそれひとつで成り立つものではなく、地域の医療機関や福祉・介護関係者、行政、そして地域の皆様との信頼によって支えられているということです。私たちも、多くの方々とつながりの中で歩みを重ね、地域に必要とされる大学付属病院としての役割を果たしてきました。

本院の歴史は、建物や設備だけでは決して刻むことのできない、多くの人の思いによって紡がれてきた時間です。患者さんやご家族の笑顔や涙、医療人として第一歩を踏み出した学生や新人職員のまなざし。その一つひとつの出会いが、今日の本院を形づくってきました。開院時から病院づくりに尽力された歴代の職員や大学関係者、地域医療を支えてくださった皆様、本院で学び各地で活躍されている卒業生、そして退職後も温かく病院を見守ってくださるOB・OGの皆様に、心より感謝申し上げます。

これまでの歩みを礎に、地域とともに未来を創る大学付属病院として、次の10年、20年へ歩み続けます。医療がどれほど進歩しても、私たちが大切にしたいのは、一人ひとりの人生に寄り添い、「その人らしく生きる」を支えるという初心です。教育・研究・診療のさらなる充実を図るとともに、地域の皆様や地域医療を担う皆様と力を合わせ、信頼される病院であり続けます。今後とも、茨城県立医療大学付属病院への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開院30周年 改めて当院をご紹介します

—— 地域のリハビリテーション医療の中核として ——

地域医療連携部長 岸本 浩

当院は「茨城県立医療大学における教育研究に資するとともに、リハビリテーションを必要とする県民の健康の維持・回復に必要な医療を提供するため」に設置され（設置及び管理に関する条例 第1条）、「良質かつ適切な医療を効率的に提供することを旨として管理運営される」（同 第2条）という原則のもとに歩んでまいりました。運動機能や日常生活に障害を来す多様な疾患・状態に対し、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師・メディカルソーシャルワーカーなど多職種で緊密に連携したチーム医療が、当院の一貫した姿勢です。



イラスト：生成 AI(ChatGPT) を活用し、編集部にて作成・調整

当院へのご紹介・受診について

【近隣の医療機関の方へ】

当院は外来・入院ともに医療機関からの紹介予約制を採用しています。転院・入院のご相談については、当院ホームページ内の「医療機関の方へ」(<https://www.hosp.ipu.ac.jp/nyuuin/formedicalpersonnel/>)もあわせてご参照ください。ご相談・ご紹介は右記連絡先までお気軽にご連絡ください。

地域医療連携室

T E L : 029-840-2980

F A X : 029-840-2981

受付時間：平日 10:00～12:00
13:00～16:00

当院ホームページ
はこちら↓



【患者さん・ご家族の方へ】

受診・入院には診療情報提供書（紹介状）が必要です。かかりつけの先生、または入院中の病院の地域連携室にご相談のうえ、当院へのご紹介をお願いしてください。外来受診については当院ホームページ内の「外来診療案内」(<https://www.hosp.ipu.ac.jp/gairai/>)をご参照いただき、紹介状をお持ちの上、右記連絡先までご連絡ください。

外来予約専用ダイヤル

T E L : 029-888-9201

受付時間：平日 9:00～12:00
13:00～15:00

当院ホームページ
はこちら↓



診療部

診療部（医師部門）は専門性の異なる3つのグループで構成されています。令和7年度を例にとり新入院患者618名の主な疾患の内訳を示します。

	リハ科・内科・神経内科 ・脳神経外科		整形外科		小児科	
1	脳梗塞	55名	変形性膝関節症	62名	先天奇形	24名
2	脳出血	49名	脊髄損傷	29名	脳性麻痺	22名
3	脊髄損傷後遺症	22名	大腿骨骨折	23名	染色体異常	18名
4	頭部外傷・脳挫傷	10名	変性性股関節症	19名	てんかん	17名
5	パーキンソン病	9名	脊椎および骨盤の骨折	13名	急性脳症後遺症	16名
6	くも膜下出血	8名	四肢骨の骨折	13名	運動発達遅滞	6名
7	その他の神経系疾患	8名	脳性麻痺	12名	ミオパチー	6名
8	脳卒中後遺症	7名	膝の関節及び靱帯の損傷	10名	インフルエンザ脳症後遺症	5名
9	中枢神経系の疾患	6名	脊椎障害	9名	新生児の脳の機能障害	5名
10	その他の疾患	58名	その他の疾患	37名	その他の疾患	40名

リハビリテーション部

リハビリテーション部は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士で構成されます。診療報酬上、脳血管疾患等リハビリテーションⅠ・運動器リハビリテーションⅠを算定しています。ロボットスーツ「HAL®」を活用した先進的なリハビリテーション（理学療法科）、ドライブシミュレーターを使用した自動車運転再開評価（作業療法科）も実施しております。全病棟で365日リハビリテーションに対応しています。また、一般の医療機関では対応が難しいことも多い以下の専門外来を診療部と合同で担っています。ぜひご紹介・ご相談ください。



◆ブレースクリニック（装具外来） 毎週木曜日午後

理学療法士・医師・義肢装具士が合同で、装具の修理・調整・更新や退院後の装具に関するご相談に幅広く対応します。

◆チェアクリニック（車いす外来） 毎週火曜日午後

作業療法士・医師・車いす取り扱い業者が合同で、シーティング、車いすの選定・適合・カスタマイズおよび修理、褥瘡予防クッションの評価などに専門的な観点から対応します。

医療技術部

医療技術部は放射線技術科・薬剤科・栄養科・臨床検査科の4科で構成されます。栄養科は「リハビリテーション栄養」の考え方に基づく栄養管理を実践し、転院・退院時には栄養情報提供書を作成して食生活支援を切れ目なく次の場へつなぎます。臨床検査科は検体検査・生理機能検査・輸血管理など幅広い分野を担い、患者さんの検査データの変化に常に目を光らせて疾患の再発・悪化の早期発見に寄与しています。薬剤科は持参薬確認から服薬指導まで、患者さんの入院中・退院後の安心な生活を支えます。放射線技術科では、整備された最新鋭の機器を活用し、近隣医療機関への画像診断サービス提供に対応（読影レポートも提供）しています（4ページ参照）。

看護部および各病棟（ユニット）



当院は全120床を3つのユニットで運営しています。看護部は「患者さんの尊厳を守り、安全・安心な療養環境を提供する」を看護方針の基本に掲げています。受け持ち看護師が患者さん一人ひとりの状態を継続的に把握しながら個別性のある看護を実践し、多職種と連携して退院後の生活まで見据えた支援を行います。

◆ 2Aユニット （46床） ：障害者施設等一般 病棟（成人）

重度肢体不自由・重度脊髄損傷・重度意識障害・ALS やパーキンソン病などの神経難病などでリハビリテーションが必要とされる成人患者さん、整形外科の術前後、痙攣治療の患者さんを対象とします。

◆ 3Aユニット （47床） ：回復期リハビリ テーション病棟

診療報酬上「回復期リハビリテーション病棟入院料1」を算定しています。専任医師・専従の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・社会福祉士を中心に入院当日から各患者さんのための多職種チームが編成され、在宅復帰を目指す患者さんを支援します。

◆ 3Bユニット （27床） ：障害者施設等一般 病棟（小児）

脳性麻痺・脳炎後遺症・神経筋疾患・神経発達症などリハビリテーションが必要とされる小児患者さんを対象とします。多職種で成長発達を支援し、在宅復帰・復学に向けて学校や地域専門職とのカンファレンスも積極的に行っています。

◆ 医療型短期入所事業（障害福祉サービス）

空床を活用した医療型短期入所事業を、3Bユニット（令和7年3月開始）では18歳未満の方、2Aユニット（令和8年4月開始）では成人の方を対象に実施しております。詳細は当院ホームページ（<https://www.hosp.ipu.ac.jp/tankinyusyo/>）をご覧ください。

当院ホームページ
はこちら↓



茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、患者さんが住み慣れた地域で、安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

◆◆◆ 画像診断サービスのご案内 ◆◆◆

当院では、他の医療機関からのご依頼で、以下の検査を実施しています。

～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

※造影しないCT・MRIは、当日の検査が可能です。

※読影結果を送付いたします。

●医療機関からの電話による予約

TEL：029-888-9213

FAX：029-888-9274

詳しくは
ホームページをご覧ください→



当院へのアクセス

【広域図】



【詳細図】



●鉄道・バスをご利用の場合

●鉄道・バスをご利用の場合

- 鉄道・バスをご利用の場合
- JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車
- 土浦駅（西口）からバスで約25分
- 「阿見中央公民館行」に乗りし、
- 「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分
- 荒川沖駅（東口）からバスで約25分
- 「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合

- 常磐自動車道
- 「桜土浦IC」より
- 約25分

～令和7年度診療実績～

(令和8年3月31日時点)

- 延外来患者数 18,255人
(1日平均 75.43人)
- 延入院患者数 37,388人
- 新入院患者数 618人
- 退院患者数 621人
- 平均在院日数 59.35日



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <https://www.hosp.ipu.ac.jp/>

